

家族でお寺に集う!

～第31回ファミリー参拝 (キッズサンガ)～



家族みんなで折り紙づくりを楽しみました (26.7.12)
—キッズサンガとは「子どもの声が聞こえるお寺に!」の運動—



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会(であ)いの時間

小僧の目

▼最近八十一歳の方のお見送りをした▼通夜も葬儀も一人っ子の長男ひとりであった▼突然の死ならともかく、多少でも兄弟縁者もあつたであろうに▼そうかと思うと亡き父が長男ということその息子が「叔母さん」の葬儀の喪主をつとめ、このほど叔父さんや伯母さんを招いて一周忌の法事を行った▼甥がまつめてくれるからと、足腰の悪い熟年の方々も集い往時をしのび「お斎」の場が盛り上がった▼従兄弟の顔も見え、次につながる絆の再確認や再構築の場になった▼お義理のやり取り、の煩わしさを避け、尊い人生の最期をお知らせすることもなく、親族葬どころか「家族葬」や「身内葬」、都会では「直葬」なる傾向はひとり『小僧の目』だけが心配することでしょうか▼片や世の中は少子高齢化に加え、未婚、晩婚による子供のいない夫婦の増加など「独居高齢者」とその予備軍は実に五百万人を超えると言います▼一人暮らしは元気なうちは「悠々自適」ですが体調を崩したり、経済的に困窮したりすると途端に行き詰まりそうした時、同居する家族のいない高齢者は、「助けて」と言える「縁」がないことに初めて気付かされ当惑すること必然である▼人間関係は一朝一夕に築けるものではない▼子供のいない夫婦は一方がなくなれば「独居」となるし、仕事に邁進して未婚を貫いた人は定年退職すれば縁を失いがちになり、老後に頼れる縁を築けず無縁となる▼迷惑をかけたくないという思いから、他人を遠ざけるのでなく、世の中は多少の貸し借りは必要なものである▼今からでも遅くない、まず身近な血縁を大事にし「ご縁」の輪を広げ、深めていく事が大切だと思ふ▼そのためにも「結縁」の格好の場である葬儀や法事を今一度見直してみたいものです。

釋 玄真

ご寺院行事

- 11月9日(日) 報恩講行事 前10:00
講師 三寄靈証先生 (福井県)
- 11月21日(金) 研修親睦旅行
22日(土) 北陸・石川方面
- 1月1日(木) 元旦会 (法事) 前7:00
- 1月16日(金) 御正法要 前10:00

ご定例法話会

- 11月20日(木) 講師 佐々木教幸先生 (福井県)
- 12月20日(土) 講師 鶴森真正先生 (愛知県)
- 1月20日(火) 講師 山崎慶雅先生 (長野市)
- 2月20日(金) 講師 未定
- 3月20日(金) 講師 未定

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

ファミリー参拝特集!

第三十一回ファミリー参拝が七月十二日(土)に行われました。今年も、若院から若い門徒の方々にも企画・運営に参加を呼び掛けて賑やかに行われました。

お勤めの前のイベントでは、「折り紙」作りを親子で楽しみ(一頁写真)、その後、讃仏偈によりお勤めをさせていただきました。境内では恒例の流しソーメンをはじめ、綿あめ、ポップコーン、かき氷が用意され、楽しみの輪投げなど、いずれも好評。家族で楽しいひと時を過ごしました。



讃仏偈でおつとめ



若院が折り紙づくりを指導



美味しいネ!(流しソーメン)

第三十五回目早朝連続参拝に 延べ六百五十五人参加(皆勤四十四人)

第三十五回目の早朝連続参拝が八月一日から十日間行われ、延べ六百五十五人が参加。今年も皆さん熱心にお勤めされました。梅雨が明けた七月下旬は暑い日が続きましたが、初日は涼しい朝を迎える中で連続参拝が始まりました。

今年も、「ご住職による「心に残ることば」をテーマにした法話を聴聞させていただきました。

ご住職は、パワーポイントを使って「心に残ることば」のスライドをスクリーンに映して、参拝者の目と心に焼き付けながら、七日間にわたってお話しされました。

パワーポイントを使う住職法話は初めての試みでしたが、わかりやすく、強く印象に残ったなどの感想が聞かれました。

三日目の日曜日は、本願寺布教使である長原真了先生(長野市)から「お浄土からの呼びかけ」と題した法話を聴聞させていただきました。

エピソードを紹介しながら、遺言とは故人が「遺」した「言葉」と受け止めた、そして遺言の背景を辿らせてもらう、故人の願いを辿らせてもらう、などとお話しさ

れました。また、人は仏の前では受け身の存在であり、「願われている」、「包まれている」。私達念仏者の生きざまは、謙虚さと真摯さを「視座」にしたい。すべての命が尊い存在であり、私を目当てに仏が呼びかけてくれている、願われている私であることに気づくことなど、心に残るご法話でした。

今年の連続参拝には、新しい顔ぶれが目立つとともに、皆勤者も昨年より増加するなど、節目の年にふさわしい実りある十日間となりました。



長原真了先生のご法話(26.8.3)

第三回公開講座参加者感想文

岡谷市 菊原 澄江

少しでも宇宙を身近に感じることが出来たらと思いい参加しました。

宇宙飛行士若田さんのラジオ体操の映像では、無重力状態では静止することの難しさを知り、絨毯の上に乗ろうとしても平衡が取れず、空飛ぶ絨毯の様でした。また、太陽と月・地球の大きさと距離の関係も模型の地球を使って説明していただいたのでわかりやすかったです。地球の中心は鉄であること、その周りは岩盤に覆われ、やわらかいところからマグマが噴き出して火山になるなど、限らない宇宙の不思議の世界に入り込んでしまったように感じました。

岡谷市 荒井 晴男

地球から宇宙に向け様々な人工衛星が打ち上げられていることくらいしか知らない私でしたが、「宇宙の大きさ・地球の大きさ」、またそれらの仕組みなどを知って、今回の講演で知り得たことは、私にとってこれからの人生に大きな糧となるでしょう。次回の公開講座もぜひ参加したいと思えます、また、多くの皆様が聴講されるようにお勧めしたいと思えます。

紙面の都合で一部割愛し編集しました

法事は子や孫の都合に合わせて

おつとめしましょう！

法事は故人をご縁に家族(縦)はもちろん親族・親戚縁者(横)の皆さんとの絆を結ぶ大切な仏縁の場です。該当の年には丁寧におつとめしたいものです。お寺も、今年は前任職の二十五回忌、前坊守の十七回忌を八月二十五日におつとめをいたしました。

平成27年回忌表

(あなたのお家は?)

1周忌	平成26年
3回忌	平成25年
7回忌	平成21年
13回忌	平成15年
17回忌	平成11年
23回忌	平成5年
27回忌	平成元年
33回忌	昭和58年
37回忌	昭和54年
50回忌	昭和41年
100回忌	大正5年

お寺の旅行にご参加を!

十一月二十一日(金)〜二十二日(土)、北陸方面に研修親睦旅行をいたします。(福井の「名湯」あわら温泉「まつや千千」に宿泊)

お寺の旅行はいつも楽しい旅行と好評です。ぜひ一度、参加してみませんか!費用は一人三万一千円です。参加ご希望の方はお寺までお尋ね・お申し込みください。

しょう しき
青 色
しょう こう
青 光
六十一回

魂を込め映画制作に取り組む

柳沢 康夫 さん
岡谷市長地権現町



玄関先に咲く花々が、穏やかなお人柄をしのばせていました。以前、敬念寺の近くにお住まいで、長年お世話人を務められている柳沢さんは、六十九歳まで株式会社エグロに役員として経営参画し、勤務されました。その歳まで働けたのは、健康であったことと感謝しておられます。柳沢さんのご趣味は映画制作とすることで、「一日中やっても飽きないのが趣味」と仰います。

作品をお宅で拝見させていただくと、趣味の域を超えた本格的な映像で驚かされました。最近上映会を行った「永田徳本さま」も見せていただきました。制作・編集のすべてを自身で手掛け、素敵な映像の中に徳本様の生きざまをしっかりと語り、そこに柳沢さんの思いが込められた素晴らしい作品でした。別室で、パソコンによる制作過程を拝見し更に驚かされました。一秒間三十コマにも及ぶ画像に音・声・ナレーション等を入れ、動かないはずの人の口元を動かしたり、それらを緻密な作業で入力するための幾重ものラインがひかれていきます。『映画は一コマ一コマが積み重ねの人生であり、そこに「心」を映し出したい。そして、映画には筋書きがあるが人生には筋書きがない。』と仰います。

次には奈良の長谷寺と般若心経を表現したい。そして、松本市の牛伏寺脇を流れる牛伏川の「フランス式階段工」(明治〜大正時代の砂防工事で国の重要文化財)を取り上げたいとのことでした。作品に魂を込めて取り組んでいる柳沢さんの眼は輝いており、印象に残りました。

(滝川 記)

一門信徒会員投稿ひろば

帰敬式を受式して

―親鸞聖人のお招き―

下諏訪町 釋遇光(熊崎壮介)

飛雲閣に上がり抹茶の接待を受け、南能舞台で能を堪能する。京都ファンにとつて、こんな魅力ある時間を過ごせる好日があるというので、昨年五月二十一日「宗祖親鸞聖人降誕会」と書かれた高札を無関心に横目で見ながら、西本願寺の境内に入りました。

当日は観光客にとつてはいささか天気が良すぎたため、お茶をいただいた後、能の開演時間まで御影堂で暑い日差しを避けることにしました。入ったあと分りました、ちようど正信偈のお勤めが始まったところで、堂内から満ち溢れんばかりの多くの門信徒の皆さんの歓喜に充ちた声が響き渡っているではありませんか。

パンフレットを見れば、この偈文は聖人ご自身の「信心のよろこびの詩」であり、すべての人々が阿弥陀如来の救いにあずかってほしいという聖人の思いが込められているとありました。自分も皆さんに合わせ、お勤めをしました。が、何よりも歓喜に溢れた声と堂内の空気に深く感動しました。本年も誘われるように本山へ参

りましたが、今年は「宗祖親鸞聖人降誕会」でのお勤めを第一に、空いた時間にお茶と能を楽しむことにしました。申し込みの際に帰敬式なるものがあることも初めて知り、その場で受式し「釋 遇光(くこう)」という法名をいただきました。お寺に足を運ぶこともほとんどない自分にとつては、明確な動機もなく、失礼な行動であるかと思いましたが、阿弥陀如来さまと聖人のお招きなのか、降誕会で受けた感動、二年続きのご縁を大切に思い、仏弟子の仲間入りをさせていただきました。

今後不勉強はそう変わるものではないと思いますが、浄土真宗のみ教えを大切に、自分なりに精いっぱい、又、ぼちぼちと生きていきたいと思えます。

こんな凡夫でも阿弥陀如来の光に照らされ見捨てないでくださるというのですから、お任せするしかありません。

素晴らしい歌声に感動!

下諏訪町 中谷久美子

今年、母の新盆で「新盆合同法要」に家族でお参りさせていただきました。

長原真了先生の貴重なご法話を聴聞させていただきましたが、その前のコールガンダーの皆様の合

唱はピアノの伴奏・歌詞と共に大変心に響くものがありました。

「そうだなあ・・」とか「そうなんだなあ・・」と改めて感じ、身に沁みる思いで聞かせていただきました。

コールガンダーの皆さんは、お忙しい時間を割いて一生懸命練習されていると思います。息の合った素晴らしい歌声に感動いたしました。有難うございました。

俳壇コーナー

岡谷市 五十川敏枝

薔薇咲きて賑はい見するわが狭庭
すずらんや離れ住む孫結婚す

岡谷市 矢野 保夫

蝸牛 掌に載せ 通学路
草の上風に揺れてる螢かな
祖母の畑孫が大好きミニトマト

岡谷市 小林 実男

盆灯の消えて空しき目覚めかな
虫も突け還らぬ人の夏惜しみ
送り火に一陣の風 聴きており
吹鳴に暑き日熱き尻みえ



編集後記

涼しい朝で始まった早朝連続参拝に象徴されるかのように、今年の八月は観測史上最も日照時間が少ない月となりました。また七月の台風豪雨により南木曾町で土石流が発生し、十月に入ると二週連続で台風が列島を通過するなど、この頃の気候を心配する方が多いのではないのでしょうか。

今号では、ファミリ―参拝、早朝連続参拝など恒例の寺院行事を掲載いたしました。

来る、十一月九日は、浄土真宗門信徒にとつて大切な「報恩講」法要が敬念寺でも営まれます。

お世話人の皆様を始め、多くの皆様をご参拝され、親鸞聖人のみ教えに遇えますようお待ちしております。

(白田 記)



平成26年度早朝連続参拝記念写真 (26.8.3)

トピックス!

第二期荘厳工事完了!

永代経懇志により進めている内陣等荘厳計画(百十一号小僧の目参照)ですが、余間境の欄間修復及び内陣御簾新調が完了し、九月最終日曜礼拝の折お披露目されました。【二段目写真】

松本組婦人部総会開催!

九月二十九日敬念寺を会場に開催。コールガンダーの皆さんが歌二曲を発表しました。【二段目写真】



←欄間と御簾



完了となった荘厳がお披露目された (26.9.28)



松本組婦人部総会で歌を発表 (26.9.29)

平成二十六年年度
報恩講法要のご案内

— 今年最後の法要です。おさそい合わせてお参り下さい —

◆日 時 平成二十六年十一月九日(日) 午前十時より

◆行事日程 (開始十分前には入堂ご着席ください。)

○受付 九時三十分 ~ 九時五十分

○報恩講法要 十時 ~ 十時四十五分

○コールガンダー・仏教讃歌の発表 十時五十分 ~ 十一時

○法 話 十一時 ~ 十二時

講話 福井県勝山市西宮寺住職 三寄 靈証 先生

「今、ここが私の人生」

○おとき(会食) 十二時 ~ 十三時

◆報恩講協賛 門信徒作品展・菊花・山野草展示他

No.2 シリーズ
住職さんといっしょ!
— 献灯献花した子どもさん —



ファミリー参拝での記念写真 (26.7.12)

